

特別支援学校小学部 第4～6学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「大村でとれる食べ物を知ろう」

2 題材設定の理由

4学年社会科で学習した長崎県の特産品が給食にも使われていることを知らせることで、日常の食事に目を向けさせ、地域でとれる食べ物への関心をもたせたいと考え、本題材を設定した。

3 本時の目標

大村の特産品の落花生が煮ごみに入っていることを知り、日常の食事と地域の特産品を関連づけて考えることができる。

4 食育の視点

地域でとれる食べ物ができる。（食文化）

5 他教科との関連

社会科「私たちの県」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の献立名を確認する。	○全員で声をそろえて言うように促す。	ヒントカード
	○今日の給食の中から大村の特産品を探すことを知る。	○4年生の社会科で長崎県の特産品を勉強したことを思い出させる。 ○今日の給食の中から大村の特産品を探すことを知らせる。 ○先生やお友達と相談して答えを出してもよいことを伝える。 ○答えがでないときは、ヒントカードをとりこくるように伝える。	
食事中	○大村の特産品を考えながら食べる。	○大村でとれる食べ物等を話題にしながらか楽しく食べさせる。	
食後	○答えを発表する。 ○毎日の食事に、地域でとれる食べ物が使われているか調べようという気持ちを高める。	○食材名と、入っていた料理名を答えるように促す。 ○地域でとれる特産品が、毎日の食事に使われていることを押さえる。 ○家での食事に、地域でとれる食べ物が使われているか調べるように促す。	

7 指導のつながり

- ・ 食堂用の掲示物で、長崎県の特産物とそれを使った給食を確認させ、地域でとれる食べ物への理解を深める。
- ・ 食育だよりで給食に使用している県産品を知らせ、食品の安全性や地産地消について家庭へ啓発する。